

「初舞台で蛭川さんにボコボコにされたい」ベネディック役：小出恵介



© サト・ノリユキ

俳優を始めたころから舞台はずっとやってみたいと思っていました。小劇場系から大きな劇場の作品まで、もともと好きでよく観ていたし、大学生のときに学生演劇をちょこっとやったこともあって。今回、念願がなって初舞台という感じです。しかも、蛭川さん演出のシェイクスピア作品で主演と、ハードルが高い現場でうれしいです。まわりは舞台のベテランの方ばかりなので、胸をお借りするつもりで楽しんでいきたいですね。最初にお話をいただいたときは、「初舞台で女優、来たか」と思ったんです。男役で、よかったと(笑い)。舞台経験をもっと積んだ後なら女性役も楽しめるんじゃないかと思うんですが、今の自分ではまだそこまでは…という感じなので。

蛭川さんには、一度お会いしたとき「任せるよ」って言われました(笑い)。どういう意味なんだろう。なんだかプレッシャーです(笑い)。「天保十二年のシェイクスピア」や「あわれ彼女は娼婦」、「カリギュラ」等、今まで蛭川さんの舞台を観てきて感じるの、確立された美しい世界があるということ。そんな蛭川さんの世界観の中で自分がどう泳いでいけるか、わくわくしますね。シェイクスピアの独特のセリフをどういう風に口にできるだろうかとか不安もありますが、とにかく稽古場で蛭川さんにたくさん打たれたい。ボコボコにされたい。自分は全然通用しないんだ、そんな感覚をもって、自分をギリギリのところまで追い込んで取り組んでいきたいと思っています。

「まさか女性役が来るとは思ってもみなくて」ピアトリス役：高橋一生



© サト・ノリユキ

今回出演を決めたのは、自分が女性をやるということがまったくの未知の世界だったから、それが大きいんです。まさか女性役が来るとは思ってもみなくて、最初に話をいただいたとき、「自分、できるのか」と思いましたね。ピアトリスって、セリフにも「美しい女」とある女性なので、まずはビジュアル的にそう見えるんだろうかというのがあって(笑い)。女性の心理もわからないので、今までの感情ベースの役作りから、型、しぐさから入る役作りへ、根本から変えていかなくてはという意味でも楽しめがありますね。

シェイクスピア作品は初めてですが、愚かさ汚さ、美しさも含め、人間が生き生きと描かれているところが好きで、戯曲もいろいろ読んでました。「ハムレット」も好きだし、「ロミオとジュリエット」のマキューシオはいつかやってみたい役ですね。芯となるキャラクターはもちろん、まわりのキャラクターも生き生きと人間らしく描かれているところに魅力を感じます。

蛭川さんの演出は「にぎり江」以来十年ぶりです。まだ右も左もわからないでやっていた頃だったんですが、言葉が的確で、だからこそすごく響いてくるなと思ったのを覚えています。その言葉に立ち向かっていけるようなエネルギーがすごく湧いてくるし、方向を導いてくれるという感じで。客席で観ていても、蛭川作品にはエネルギーをものすごく感じるの、自分もその熱気の一部になれたらなと楽しみにしています。

取材・文＝藤本真由（舞台評論家）

Cast Profile

小出恵介（こいで けいすけ）

2005年、映画『バッチギ!』（井筒和幸監督）でデビュー後、若手実力派としてその活躍が目撃を集めている。主な出演作として映画『きみにしか聞こえない』（萩島達也監督）『キサラギ』（佐藤祐市監督）『恋空』（今井夏木監督）『僕の彼女はサイボーグ』（クック・ジョン監督）、ドラマ『おいしいプロポーズ』（TBS）『のだめカンタービレ』（CX）『佐々木夫妻の仁義なき戦い』（TBS）『ROOKIES』（TBS）等。今作で初舞台にて主演を務める。

高橋一生（たかはし いっせい）

舞台・映画・ドラマで幅広く活躍。主な出演作に舞台『トランス』（鴻上尚史演出）『アイスクリームマン』（岩松了演出）『ファイナルファンタジクスーパーノーフラット』（本谷有希子演出）、映画『半落ち』（佐々部清監督）『ミートボールマシーン』（山口雄大監督）『デトロイト・メタル・シティ』（李闘士男監督）ドラマ『風林火山』（NHK）『医龍2』（CX）『1ポンドの福音』（NTV）『ゴンゾウ』（ANB）等。蛭川演出作品は98年の『にぎり江』以来2作目。

長谷川博己（はせがわ ひろき）

2001年文学座研究所に入所。TPT『BENT』（ロバート・A・アッカーマン演出）で初舞台を踏み、以降『ゴロヴリョフ家の人々』（永井愛演出）『赤い月』（鶴山仁演出）『トーチソングトリロジー』（鈴木勝秀演出）等の舞台で活躍。06年退団後、『シェイクスピア・ソナタ』（岩松了演出）等の舞台に出演する他、ドラマ『四つの嘘』（EX）『七瀬ふたたび』（NHK10月期）に出演。蛭川演出作品には『カリギュラ』等に出演しており、今作で4作目。

月川悠貴（つきかわ ゆうき）

1985年初舞台、蛭川演出作品の娘役になくはならない存在で、オールメール・シリーズ全作品に出演している。『お気に召すまま』シリーズ、『間違いの喜劇』ルシアーナ、『恋の骨折リ損』マライアなど、その演技はいずれも好評を博す。コンサートやディナーショー等の音楽活動にも意欲的に取り組むなか、『ハムレット』『タイタス・アンドロニカス』のほか、今夏出演した音楽劇『ガラスの仮面』では劇中歌も担当した。

●●●● PLAY ●●●●

彩の国シェイクスピア・シリーズ第20弾 『から騒ぎ』

【日時】10月7日（火）～23日（木） 全19公演

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【演出】蛭川幸雄 【作】W.シェイクスピア 【翻訳】松岡和子

【出演】小出恵介 高橋一生 長谷川博己 月川悠貴 吉田鋼太郎 瑠川哲朗 ほか

【チケット（税込）】好評発売中

一般：S席9,000円/A席7,000円/B席5,000円/学生席2,000円

メンバーズ：S席8,100円/A席6,300円/B席4,500円

【バックステージツアー】10月15日（水）公演終了後（30分程度）

【アフタートーク】10月20日（月）公演終了後出演者によるトークあり

詳細は財団ホームページにて <http://www.saf.or.jp>

10月	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
曜日	火	水	木	金	土	日	月・祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
13:00			休		●	●	●			休		●	●				●
13:30								●	●					●			●
18:00					●							●					
18:30	●	●	演	●				●		演	●			●	●		●